

第14回 北広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議概要

日 時	令和2年11月6日(金) 15:30~16:30
場 所	市役所1階多目的室1・2
出席委員	山本一彦委員・藤山康雄委員・浦野博之委員・小池隆史委員 ・奈良隆委員・壽福史人委員・二瓶文彰委員・宮崎克宣委員 ・吉岡広樹委員・穴戸圭子委員・小野麗子委員
欠席委員	深村真人委員・丹野司委員・守山英男委員
事務局	川村企画財政部長、橋本企画課長・大川主査
傍聴者	1名
会議次第	1 開 会 2 議 事 (1) 第1期総合戦略の効果検証について(資料1) (2) 第2期総合戦略の素案について(資料2) (3) 次回推進会議の日程について 3 その他 4 閉 会

1 開会

委員 14 名中 11 名が参加。委員の過半数が出席していることにより、会議が成立していることを報告。2 名の委員の変更があったことから新委員の紹介。

2 議事

(1) 第 1 期総合戦略の効果検証について

<事務局より資料 1 に沿って説明>

【A委員】

- ・ボールパークという大きな強みを生かして定住に向けた取り組みを更に強化していただきたい。

【B委員】

- ・北広島市に来たばかりで、市内は飲食店が少ないというのが一番のまちの印象であるが、今後、本会議においても色々勉強させていただきたい。

【C委員】

- ・大都市や主要都市に隣接しているまちの人口維持は大変なことであるが、今後のボールパーク開業や J R 駅西口の整備を控えている現段階において、社会増になっている状況は今後の各施策にも生きてくると思われる。

【D委員】

- ・市内 5 地区の人口の増減はどのようになっているのか。
- ・5 地区に分かれていることが子育て支援等にデメリットとなっているのか。
- ・高齢者支援センターは各地区にあるが、子育て支援施設はどのような状況か。
各地区の高齢者支援センターを地域支援センターにして子育て支援の専門職を配置し、子育て支援施設も兼ねることで、より地域で子育てがしやすい環境になると考える。

【事務局】

- ・市全体として人口は減少しているので各地区においても減少している状況であるが、地区によっては減少割合に違いがあり、他地区と比べ一番減少しているのは団地地区である。他の地区は減少傾向にはあるが、一定程度維持している状況であり、定住施策の効果が各地区に現れているといえる。
- ・子育て支援については、まず市としての取組について、これまでは保健福祉部の中の健康推進課という部署での取組だったが、新たに子育て支援部を設け、組織として積極的に支援する体制としている。また、子育てに係る包括的な支援については、包括支援センターにおいて、子育て世代に寄り添い、出産から子育てまで切れ目のない支援を行っている。なお、一つの指標の目安として、乳児検診をされている保護者へのアンケート結果からは、本市で子育てをしたいという回答が増えてきており、数値的

にも子育てしやすい環境であると感じていただいている状況であると把握している。

- ・地域の子育て支援センターは市内に3か所あり、子育て中の親子の交流や子育てに関する相談・講座等を実施しているが、いかに周知し認知度を高めていくかが課題であるので、しっかり対応していきたい。

【会長】

- ・このとおり第1期総合戦略の効果検証を承認してよいか。

【各委員】

- ・承認してよい。

(2) 第2期総合戦略の素案について

＜事務局より資料2に沿って説明＞

【C委員】

- ・現在、金融機関では地域の高齢化を踏まえ、事業承継やM&Aなど裾野を広げて事業展開しているの、雇用の安定という面で事業承継の視点も大事ではないかと考える。また、市内に産科がないので不便であるという子育て世代の声も聞いており、医療リスク等の問題で産科医が少なく難しい状況ではあるが、医療機関との連携等、子育て環境の充実は重要であると考え。

【会長】

- ・雇用については、市内大学の卒業生に地域に定着して仕事をしてもらいたいと思っているが、現時点ではまだまだ少ない状況であるので、今後、雇用の場が増えることがたい。

【E委員】

- ・コロナの感染拡大により様々な場面で変化が求められ、テレワークやリモートワークを推進する企業が増えていることから、地方でのリモートを使った働き方の実現や新しい人の流れが生まれるチャンスであるといえる。ボールパークやアクセスの良さといったオリジナルな強みを生かして「リモートワークでの北広島市暮らし」を道内外に発信してはどうか。

【事務局】

- ・素案の雇用に係る部分については、雇用の安定や事業の承継、コロナ禍におけるテレワーク・リモートワークの着眼点あまり入っていないことから、いただいた意見を参考にしながら、原案を作成していきたい。
- ・産科誘致については、市民ニーズが高く補助制度も設けているが、子どもの数の減少や地区が分散しており札幌市と隣接している地区もあるなど産科誘致に結び付くのは難しい状況ではあるが、引き続き取り組んでいくとともに、医療機関との連携や妊婦の安心につながる取組についても、いただいたご意見を参考にさせていただく。

【会長】

- ・このとおり第2期総合戦略の素案を承認してよいか。

【各委員】

- ・承認してよい。

(3) 次回開催日程について

- ・次期総合戦略素案の審議について12月頃を予定しており、実施日については改めて調整したい。

3 その他

- ・特になし。

4 閉会